



入れ歯安定剤のいろは

入れ歯安定剤の種類

パウダータイプ: 国内ではポリグリップパウダーと新ファストンがあります。



入れ歯の内面に**薄く均一にパウダーを振り掛けるように**してお使いください。慣れるまでは難しく感じられるかもしれませんが、慣れてしまえば大したことはないです。使い勝手は良好ですが、増粘性はクリームタイプのものに比べて劣ります。

クリームタイプ: 新ポリグリップ、タフグリップ、ライオデントクリームがあります。増粘性はパウダータイプよりも高いです。



入れ歯内面に**グリーンピース大の大きさのクリームを数箇所出し、入れ歯内面全体に薄くまんべんなく延ばしてお使いください。**

クッションタイプ: ほとんどのものが、使い始めの際にボンド系の



臭いと僅かながら舌に対する刺激感があります。クッション材として使用される酢酸ビニル樹脂は、弾力性にとても優れており、入れ歯のあたりを緩和してくれます。ただし、**材質の性質上、入れ歯の内面全体に薄く均一に貼り付けることが困難です。**

シートタイプ: シートタイプは手軽に使用できる点がメリットです。

タッチコレクトⅡはシートの主成分がCMCの為、最終的には溶けてなくなります。



シーボンドの方はとけないシートの為、**長期間継続して使用すると噛み合わせが悪くなり顎の土手が吸収したりすることがあり、注意が必要です。**両方とも増粘性はそれほど強くありません。

その他: 水性の入れ歯安定剤があります。

ミズグリップの最大の利点は、口をゆすぐだけで口の中に残った入れ歯安定剤がきれいに落とせることです。これは、利用者にとってとても便利なことです。水性の為、増粘性はさほど強くありません。



歯科衛生士 福田の今月のおすすめ

当医院では「ザンフトン」というパウダータイプの安定剤を扱っております。パウダータイプは慣れるまで少しコツが要りますが、慣れてしまえば一番使いやすいと思います。

